

世界史

第1問 次の文章(1)～(5)を読んで、以下の問いに答えよ。

(1) 1250年に〔ア〕朝はマムルーク軍団のクーデターで滅亡し、マムルーク朝がおこった。マムルーク朝の第5代スルタン〔イ〕はシリアでモンゴル軍を撃退した。10世紀以降のイスラーム世界の諸政権は、マムルークをはじめとするトルコ系、イラン系の軍人を重用し、イクター制を採用した。また、〔エ〕と呼ばれるイスラーム法に精通した^(ウ)学者、知識人が重用された。マムルーク朝の首都である〔オ〕は交易によって繁栄したが、14世紀後半に^(カ)人口が激減した。

問1 空欄(ア)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。 1

- ① カラハン ② アイユーブ ③ アユタヤ ④ アケメネス

問2 空欄(イ)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。 2

- ① バイバルス ② ラシード=アッディーン
③ ニザーム=アルムルク ④ マンスール

問3 下線部(ウ)の説明として、最も適切なものを以下から選べ。 3

- ① 全ての官僚に序列をつけ、その位階に応じて給与と持つべき馬の数を決める制度である。
② 屯田兵が生産労働の担い手となっている制度である。
③ 中央集権的な地方統治制度である。
④ 軍人や官僚に俸給の代わりに、国家の分与地の徴税権を与える制度である。

問4 空欄(エ)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。 4

- ① ウラマー ② タバリイ ③ マームーン ④ マドラサ

問5 空欄(オ)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。 5

- ① カイロ ② メディナ ③ ダマスクス ④ バグダード

問6 下線部(カ)の原因として、最も適切なものを以下から選べ。 6

- ① 梅毒 ② 天然痘 ③ ペスト ④ コレラ

問15 下線部(ウ)の説明として、最も適切なものを以下から選べ。 15

- ① ムラービト朝を滅ぼした。 ② ナスル朝を滅ぼした。
③ 太陽王と呼ばれた。 ④ ハンガリーを征服した。

問16 空欄(ク)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。 16

- ① イスマーイール ② イェニチェリ
③ ズィンミー ④ カビール

問17 空欄(ケ)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。 17

- ① シパーヒー ② ミナレット
③ ミツレット ④ ミレトス

問18 空欄(ク)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。 18

- ① カデシュ ② カピチュレーション
③ カティプーナン ④ カーヌーン

問19 空欄(ケ)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。 19

- ① カルロヴィッツ ② トリアノン
③ ラパロ ④ ヌイイ

- (4) 18世紀になると、イスラーム教の改革を目指す運動が活発になった。
[(ト)] は、イスラーム教の原点回帰を目指し、神秘主義とシーア派を攻撃した。18世紀半ばのアラビア半島で始まったこの運動は、アラビア半島中部の豪族 [(ナ)] 家の支持を得た。19世紀後半になると、西欧に対抗するためにイスラーム世界の改革を唱える思想家が現れた。その一人であるイラン出身の [(ニ)] は、イスラーム教徒は一致協力してイスラーム世界をうちたてるべきと主張した。

問20 空欄(ト)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。 20

- ① 十二イマーム派 ② ワッハーブ派
③ ワクフ ④ アミール

問21 空欄(ナ)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。 21

- ① アリー ② ウマイヤ ③ サウード ④ ハーシム

第2問 次の文章(1)～(4)を読んで、以下の問いに答えよ。

(1) ハプスブルク家のカルロス1世はイタリア戦争でフランスと争い、神聖ローマ皇帝位も獲得した。広大な領土を手に入れるに至ったハプスブルク家の強大化を恐れるなかで、西ヨーロッパ諸国は外交と戦争を行った。こうして主権国家体制が形成されるようになった。また、スペインやフランスでは絶対王政とよばれる統治体制が成立した。カルロス1世の退位後、ハプスブルク家はスペイン系とオーストリア系に分かれた。スペインのフェリペ2世は、イタリア戦争を終結するなど最盛期をもたらした。しかし、1588年にはイギリスに派遣した〔エ〕が敗北してしまうほか、オランダによる独立戦争の長期化も、国力を次第に削ぐ結果となった。

17世紀半ばには、凶作や不況、疫病等の危機が襲い、ヨーロッパは不安定な状況であった。〔カ〕の新教徒がオーストリアのハプスブルク家による旧教化政策に対して反乱をおこしたことをきっかけに三十年戦争がおきた。この戦争にはヨーロッパ各国が参戦し、大規模な戦乱に発展した。

問1 下線部(ア)に関する説明として、最も適切なものを以下から選べ。 27

- ① フランス王フランソワ1世がイタリアに侵攻したことがきっかけで始まった。
- ② カトー=カンブレジ条約で終結した。
- ③ この戦いの結果、イギリスはフランスに領有していたナントを失った。
- ④ カルロス1世はシャルル8世と戦った。

問2 下線部(イ)に関する説明として、明らかに適切でないものを以下から選べ。

28

- ① 教会や聖職者の領地をすべて没収した。
- ② 官僚制を築いた。
- ③ 常備軍が整えられた。
- ④ 王権は神から授けられた神聖不可侵なものとした。

問3 下線部(ウ)に関する説明として、明らかに**適切でないもの**を以下から選べ。

29

- ① イギリス女王メアリ1世と結婚した。
- ② レパントの海戦でオスマン帝国を破った。
- ③ ポルトガル王を兼ねた。
- ④ カルヴァン派の信仰を保護した。

問4 空欄(エ)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。

30

- ① ネルソン ② ドレーク ③ エンリケ ④ アルマダ

問5 下線部(オ)に関する説明として、最も適切なものを以下から選べ。

31

- ① マカオを拠点に香辛料貿易を独占した。
- ② ネーデルラント北部7州はユトレヒト同盟を結んだ。
- ③ 中継貿易で栄えたアムステルダムはスペイン軍に占領され衰退した。
- ④ 1609年の休戦条約でオランダの独立が国際的に認められた。

問6 空欄(カ)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。

32

- ① ベーメン (ボヘミア) ② アルザス
- ③ プロイセン ④ ブランデンブルク

問7 下線部(キ)に関する説明として、最も適切なものを以下から選べ。

33

- ① フランスは神聖ローマ帝国を支援した。
- ② スウェーデン王カール12世は新教徒側に立って参戦した。
- ③ この戦争の終結に伴い、スイスの独立が認められた。
- ④ 傭兵隊長オドアケルが活躍した。

問11 下線部(甲)の在位時におこった以下の出来事の年代順の配列として、最も適切なものを後から選べ。 37

- A オランダ戦争
 - B スペイン継承戦争
 - C ナントの王令廃止
 - D フロンドの乱
- ① A→C→D→B ② C→A→B→D
③ D→A→B→C ④ D→A→C→B

問12 下線部(乙)に関する説明として、明らかに**適切でないもの**を以下から選べ。

38

- ① オーストリア継承戦争でシュレジエンを奪われた。
- ② 七年戦争の結果、プロイセンからシュレジエンを回復した。
- ③ ヨーゼフ2世は農奴解放令などの自由主義的改革をすすめた。
- ④ ポーランド分割に参加した。

問13 空欄(丙)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。 39

- ① コルベール ② ネットケル
- ③ ミラボー ④ リシュリユー

問14 下線部(丁)に関して、以下の哲学者・思想家と著作の組み合わせとして、最も適切なものを以下から選べ。 40

- ① ロック——『統治二論』 ② ヴォルテール——『社会契約論』
- ③ デイドロ——『経済表』 ④ デカルト——『新オルガヌム』

問15 下線部(戊)に関して、1780年代に起こった出来事として、最も適切なものを以下から選べ。 41

- ① スペインで、画家のエル＝グレコが活躍した。
- ② 日本はポルトガル船の来航を禁止し、「鎖国」政策を開始した。
- ③ タイで、ラタナコーシン（チャクリ）朝が成立した。
- ④ タイのラーマ4世は、イギリスとバウリング条約を結んだ。

問20 下線部(ト)に関して、以下の表は1750年、1801年、1851年のイギリス主要都市の人口を示したものである。表中の(あ)、(い)に当てはまる都市の位置を地図上の(a)～(d)の中からそれぞれ選び、その組み合わせとして最も適切なものを後から選べ。 46

都市名	1750年	1801年	1851年
(あ)	67.5	96.0	236.2
	2.4	7.1	23.3
(い)	2.2	8.2	37.6
	2.0 (1757年)	7.5	30.3

表. イギリス主要都市の人口 (単位: 万人)



- ① (あ)―(a), (い)―(b) ② (あ)―(a), (い)―(d)
 ③ (あ)―(d), (い)―(b) ④ (あ)―(d), (い)―(c)

問21 下線部(ナ)に関して、ヴィクトリア女王の在位期間（1837～1901）におこった出来事の説明として、明らかに適切でないものを以下から選べ。

47

- ① 英仏協商が結ばれた。
- ② 世界初の万国博覧会がロンドンで開かれた。
- ③ 穀物法が廃止された。
- ④ 第2回選挙法改正が成立した。

(4) 19世紀前半には、ナポレオン戦争などによるヨーロッパの混乱を收拾し、ヨーロッパの新しい秩序を建設するためにウィーン会議が開かれた。この会議で認められたウィーン体制を強化するために、^(ス)各国の君主によって神聖同盟や四国同盟がむすばれた。これらの結果、大国間の戦争は回避され新たな国際秩序が形成されたが、^(ネ)各国で蜂起や革命の動きがおさまらず、ウィーン体制は大きく揺らぐこととなった。^(ノ)

フランスでは、上層ブルジョワジーに支持されたオルレアン公ルイ＝フィリップが国王に迎えられた。中下層ブルジョワジーや労働者は、少数の上層ブルジョワジーが優位を占めていた状況に不満を持っていた。選挙法改正を要求する動きを、首相が抑圧したことをきっかけに、1848年〔ハ〕月、パリで革命がおこった。これを受けてルイ＝フィリップは退位して臨時政府が樹立された。この動乱をもって、ウィーン体制は崩壊し、各国に共通した問題が浮き彫りとなった。

問22 下線部(ニ)に関する説明として、最も適切なものを以下から選べ。

48

- ① エルバ島生まれの軍人であった。
- ② テイルジット条約を結び、ワルシャワ（大）公国をたてた。
- ③ ライプツィヒの戦いでオーストリア・ロシア連合軍をやぶった。
- ④ トラファルガーの海戦で、ウェリントン率いるイギリス艦隊にやぶれた。

問23 下線部(ヌ)の結果として、明らかに**適切でないもの**を以下から選べ。

49

- ① プロイセンはザクセン北部に領土を拡大した。
- ② イギリスはマルタ島を獲得した。
- ③ オーストリアはラインラントを領有した。
- ④ ロシア皇帝はポーランド国王を兼ねた。

問24 下線部(ネ)の加盟国として、明らかに**適切でないもの**を以下から選べ。

50

- ① イギリス ② フランス ③ ロシア ④ プロイセン

問25 下線部(ノ)に関する説明として、最も適切なものを以下から選べ。

51

- ① ドイツで、青年貴族将校であるブルシェンシャフトが全国的な運動を起こした。
- ② 南米で、サン=マルティンの指導により、大コロンビアとエクアドルが独立を果たした。
- ③ ルイ18世はオーストリアへ亡命した。
- ④ イギリス・ロシア・フランスはギリシアの独立を支援した。

問26 空欄(ハ)にあてはまる最も適切なものを以下から選べ。

52

- ① 二 ② 三 ③ 六 ④ 七